

フェアプレイ
インタビュー
【競泳】イトマン東進所属
大橋悠依選手



プロフィール
生年月日：1995年10月18日
出身地：滋賀県

2019年
世界水泳
銅メダル獲得!

全力で練習して水泳を楽しんで
メダルを獲りたい

昨日の自分に勝つ
喜びが力に

昨年開催された光州世界水泳選手権の400メートル個人メドレーで銅メダルを獲得し、世界水泳で2大会連続のメダリストとなった大橋悠依選手。6歳の時にお姉さんの影響で水泳を始めました。小学校3年生の秋には選手コースに上がり、4年生になる直前に全国大会に出場。全体で152位

練習でも全力で
楽しむことを忘れずに

JSPOが掲げるフェアプレイ7カ条に『全力をつくそう』『たのしもう』という項目があります



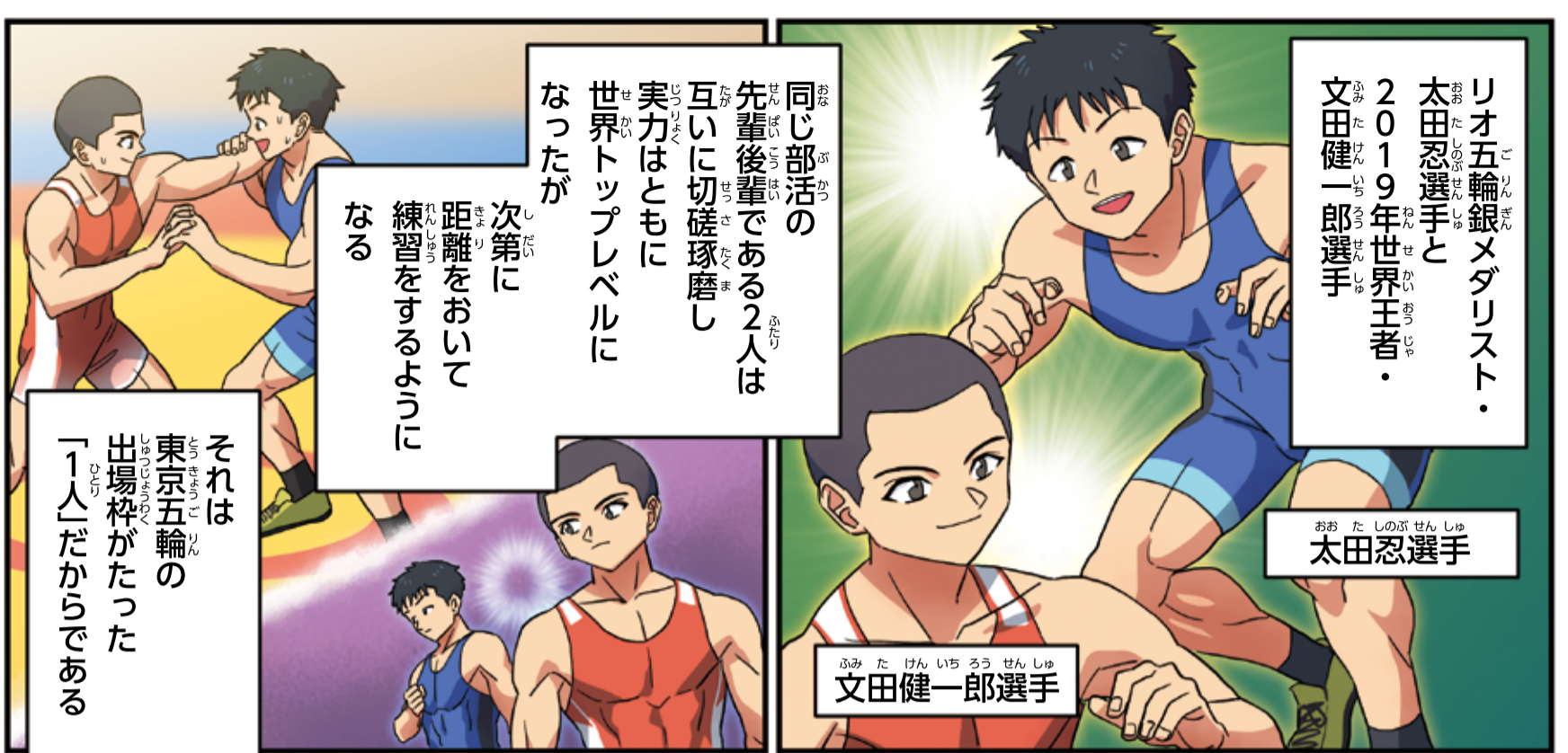
失敗を恐れずに
挑戦しよう

国際大会では世界のライバルたちと競い合います。「ライバルに勝つためには、まずは自分に勝たないといけないのです」という大橋選手はたくさん仲間やライバルたちがいたからこそここまで強くなってきました。世界選手権でメダルを獲得していますが、東京五輪へ向けては、「チャレンジヤー」ということを忘れずに、自信を持って世界の選手に挑めるように、全力で練習を積んでいきます。その上で自己ベストをマークして、メダルを獲りたいです」と目標を語り、そして「これを読んでくれているみなさんも失敗を恐れずいろいろなことに挑戦し続けてほしいです」と話してくれました。



「勝敗を超えたフェアプレー精神」

レスリング
太田忍選手
文田健一郎選手



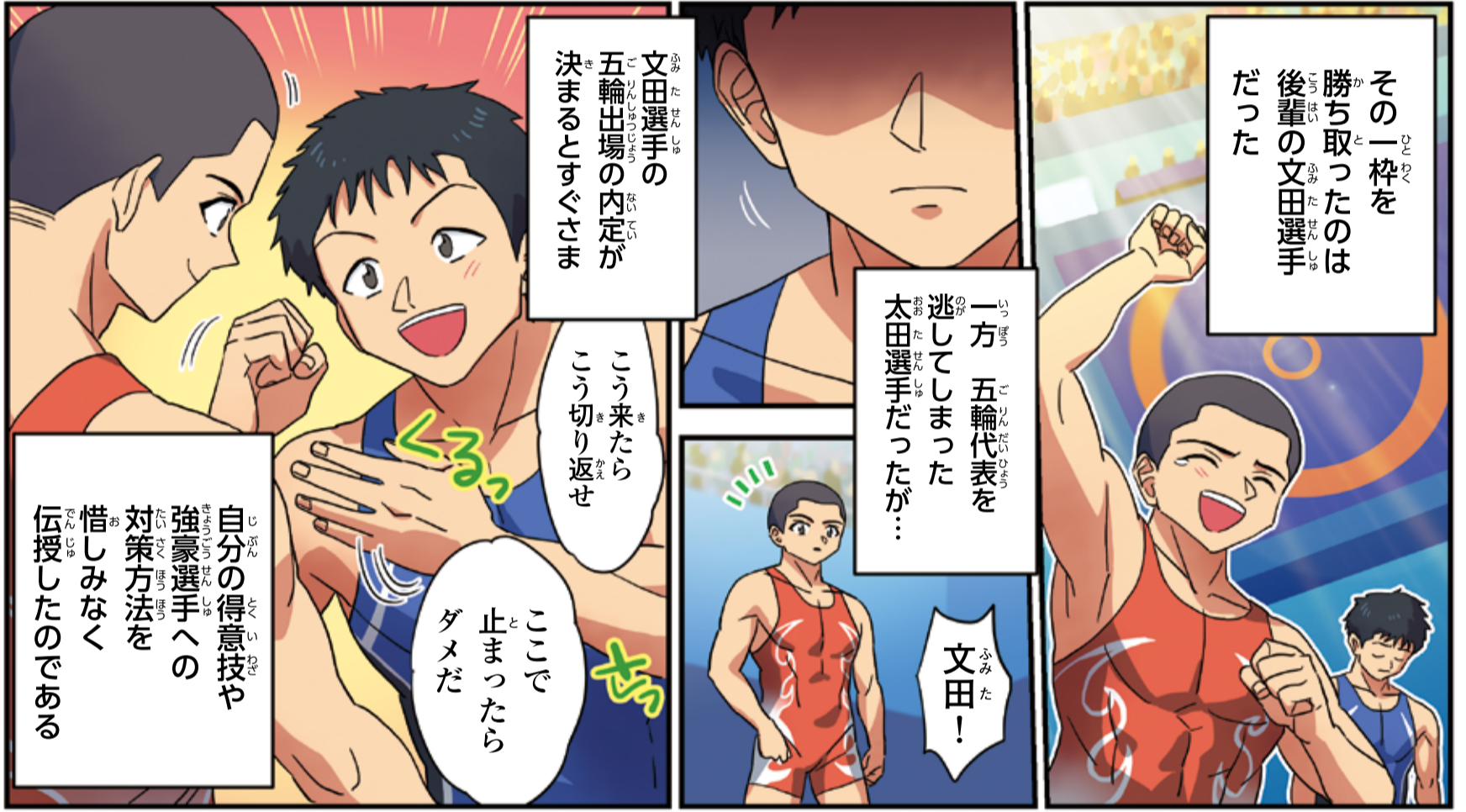
リオ五輪銀メダリスト・
太田忍選手と
2019年世界王者・
文田健一郎選手

太田忍選手

同じ部活の先輩後輩である2人は互いに切磋琢磨し実力はともに世界トップレベルになったが

次第に距離をおいて練習をするようになる

それは東京五輪の出場枠がたった1人だからである



その一枠を勝ち取ったのは後輩の文田選手だった

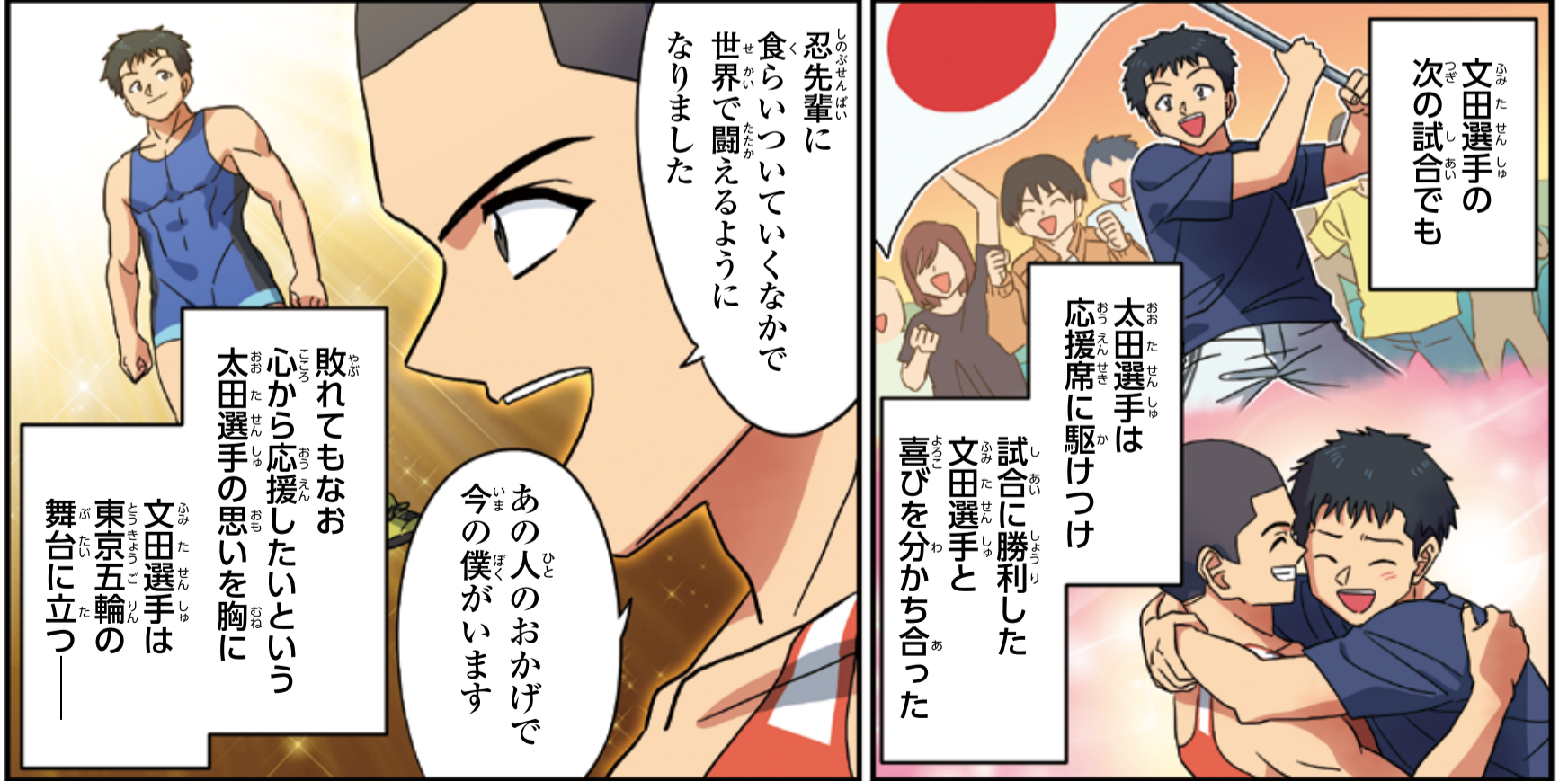
一方五輪代表を逃してしまった太田選手だったが…

文田選手の五輪出場の内定が決まるとすぐさま

こう来たらこう切り返せ

ここで止まったらダメだ

自分の得意技や強豪選手への対策方法を惜しみなく伝授したのである



文田選手の次の試合でも

太田選手は応援席に駆けつけ

忍先輩に食らいついていくなかで世界で闘えるようになり

あの人のおかげで今の僕がいます

敗れてもお心から応援したいという太田選手の思いを胸に

文田選手は東京五輪の舞台に立つ

